

海の声

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

~VOICE OF OCEAN~

御所浦小学校
学校通信
令和3年10月27日
文責・木村純一

38

御所浦小ホームページのトップページはコチラ→



集団宿泊教室に行けなかった2年分の思いをこめて 修学旅行に行ってきました！



佐賀宇宙科学館にて

令和2年度、コロナ禍、できなかった大きな行事がありました。集団宿泊教室、水俣に学ぶ肥後っ子教室の2つです。奇しくもその両方が5年生の行事で、6年生にとって、今回修学旅行に行くことが、宿泊を伴う遠方へ出

かける初めての学校行事となりました。出発の時から、子どもたちのテンションも少し高かったと思います。長崎から送られてくる写真はどれも子どもたちの喜びも一緒に伝えてくれているようでした。



止まってくれた車にお礼が言えます

長崎が辿った歴史、平和を学ぶ

6年生の学びは6年間の学びの集大成



山里小の防空壕

修学旅行は6年間の学ぶ姿の集大成と考えます。学校を離れ、訪れた先で何を学び、何を記憶してくるのか、そこで何を感じるか、ということは学校でくり返し行っている学びの営みでもあります。ですので、どの学年の保護者の方も、いずれ訪れる学ぶ姿の集大成としての修学旅行と捉えていただければと思います。

子どもたちが長崎に行く意味があります。私は小学校6年で初めて訪れた長崎で見た

戦争の爪痕は、あのとき感じた空気と一緒に今も私の記憶にあります。多感なこの時期に長崎を訪れる意味が確かにあると考えます。長崎で何を感じ、これからどう生かしていくのかは、人それぞれです。しかし、凄惨な戦争の悲しみのあとに、私たちの享受している平和があることは紛れもない事実です。「知ること」「忘れないこと」「平和に感謝すること」子どもたちはしっかりと学ぶことができました。



平和な未来を作ります



この夜景に何を想う？



平和の祈りを捧げます

いろいろな仕事があることを学ぶ

世の中にはいろいろな仕事があります



宇宙を感じる！

観光都市長崎そして佐賀を訪れる人々に満足を与える町の営み、子どもたちはたくさんの働く人々を見てきました。ホテルで働く人々、おいしい料理を作る人々、バス等交通機関で働く人々、旅行をプロデュースする人々、さまざまな商品を作る人と売る人…。ひょっとしたら、その中に、子どもたちが将来めざすことになる仕事があるかもしれません。キャリア教育の視点、子どもたちが未来を生きるためのヒントが2日間の中にあっただかも

しれません。先日の就学時健診で、新1年生の保護者の方に、親子で将来の夢を語ると学習時間が長くなる、というグラフをお見せしました。さらにその夢は成長とともに具体的な夢へと変換していくことでモチベーションを持続できるという話もしたところです。修学旅行で見たいろいろな仕事、子どもの夢とつながるのもステキだと思います。



ホテルでのお礼



口之津港リニューアル



科学館にも働く人々

かけがえのない友との時間に学ぶ

時間ってステキな宝物！



友と見た美しい夜景

そして、この修学旅行の、醍醐味は、友と一緒に学ぶ、友と一緒に過ごす、その時間にあると思います…。

この思い出を大切に、さらに友情を深めていってほしいと思います…。

私の息子の大学生活は、コロナ禍、大学もリモート授業、外出もままならない中で2年目を迎えています。「自分は浪人したから意地でも辞めないけど、辞める人の気持ちも分かる」と言っていました。私の息子を支えているのは天草の友です。天草の友とのつながりが息子の学校生活を支えています。とてもありがたいなあ

と思います…。6年生が長崎・佐賀で過ごした時間は1泊2日という短い時間ですが、その密度はかけがえのない思い出となって、濃く、濃く、彼らの記憶にインプットされると思います。残り少ないこれからの小学校生活、そして自分の人生に役立ててほしいです。そして、なんと言っても感謝の気持ちです。安くはない費用を出していただいた家族への感謝の気持ちを忘れないでほしいです。修学旅行に行かせてくれたことにいっぱい感謝してほしいです。



あたりまえをあたりまえに



かけがえのない時間



かけがえのない友だち

